

参院選で「野党は共闘を」

安保法反対、統一候補擁立へ期待



市民団体の集会に400人

夏の参院選での野党統一候補づくりを考える市民集会「野党は共闘」が20日夜、福井市で開かれた。集会は、安全保障関連法を戦争法と批判し、廃止も求めた。各野党の代表者からは、受け入れに前向きな発言が相次いだ。

「戦争ある国づくり」反対が安保関連法に反対してい

福井総がかりアクション」が主催した。屋敷絵美代表は、安倍晋三首相による改憲の動きを「戦後民主主義を根底から踏みにじる暴挙」と批判し、安保関連法に反対する野党統一候補擁立への期待を語った。

山本正雄・民主党県連代表は、推薦する無所属新顔表

「野党は共闘」を一斉に掲げた参加者=福井市田原十日のフェニックス・プラザ

ることを紹介。南秀一・共産党県委員会委員長も、擁立した共産新顔について「降ろすことも考えていて

る」と語った。白井信子、社民党県連合副代表や、緑の党的笠原一浩弁護士も共闘の大切さを説いた。

各市民団体の意見発表もあった。退職教職員の会の橋弥代治さん(79)=福井市

「私は11月まで生きてこひる」と語った。白井信子、社民党県連合副代表や、緑の党的笠原一浩弁護士も共闘の大切さを説いた。

各市民団体の意見発表もあった。退職教職員の会の橋弥代治さん(79)=福井市

命と心を憲法が最大限に守ってくれたおかげ」と張り

のある声と大きな身ぶりで訴えた。少年時代の軍歌、訪ねたパレスチナ自治区方

ザの写真なども紹介した。

(下地穂)